

## ② 洪水状況

### 1) 善福寺川河道の状況

善福寺川では、上中流域(原寺分橋、成田東)において9月4日の20:00から23:00までにまとまった雨が降り、同日21:30頃より河道溢水氾濫が発生している。また、これに加え、全流域において60分最大雨量が60mmを超え、最大112mmを記録したこと、善福寺川水位が高いことによる排水不良もあって、内水氾濫も同時多発的に発生したと考えられる。

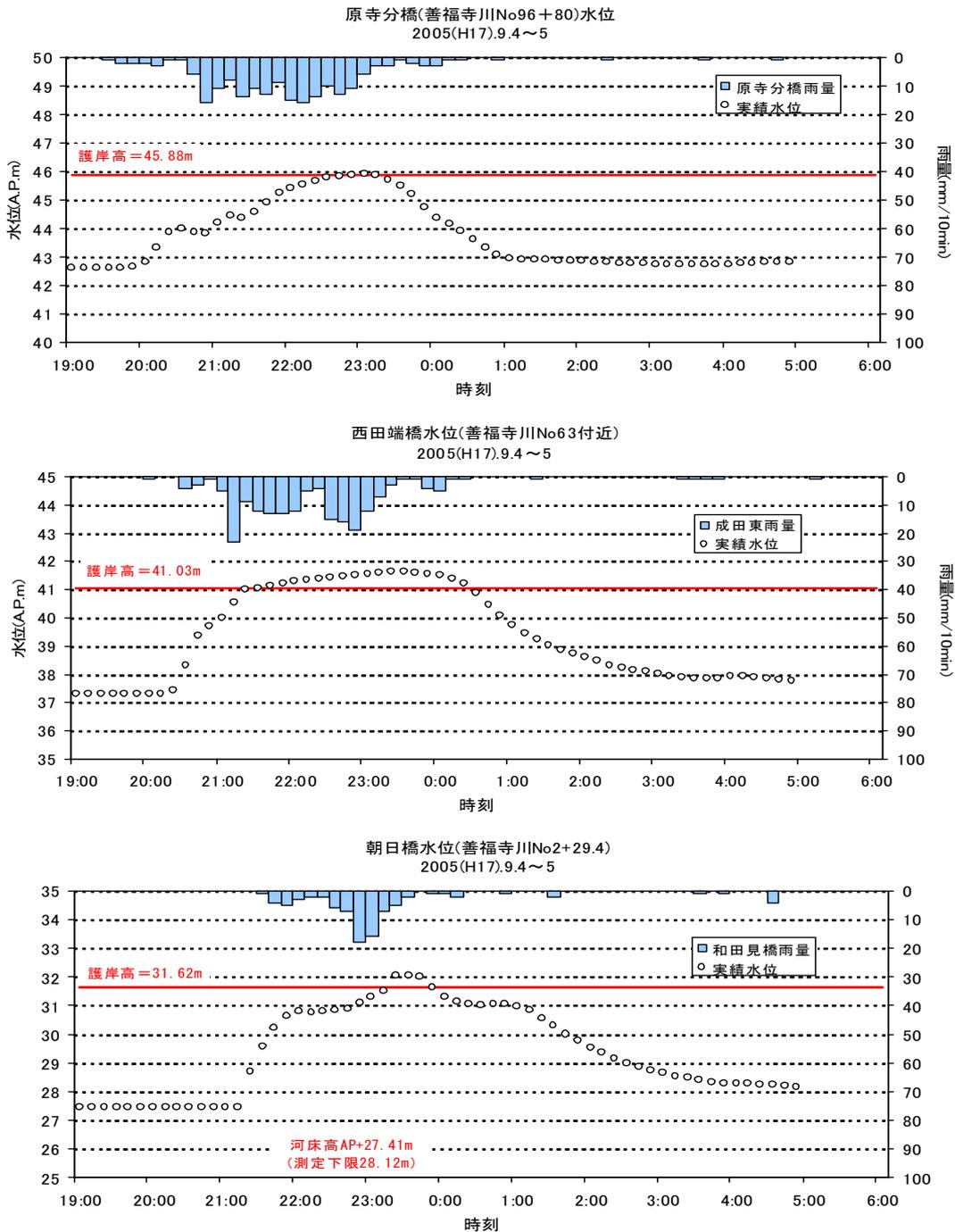


図 2-9 善福寺川の降雨と水位記録 (東京都観測データを基に作成)

2)善福寺川和田堀調節池群の状況

善福寺川には現在、和田堀調節池2号池(2,500 m<sup>3</sup>)、3号池(3,000 m<sup>3</sup>)、6号池(25,700 m<sup>3</sup>)が整備されているが、9月4日集中豪雨時にはすべて満杯となった。

3)神田川・環状七号線地下調節池の状況

9月4日の集中豪雨では、第一期区間に24万3千m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、浸水被害を軽減。

さらに、供用前の第二期区間の安全を確認の上、18万m<sup>3</sup>の洪水を貯留。

図2-10に方南橋地点における実測水位と調節池への流入がなかった場合の想定水位を示す。また、地下調節池の被害軽減効果を示す。(出典：国交省河川局HP)

<環状七号線地下調節池の効果(想定)>  
 今回の浸水面積約55ha、浸水戸数約3,000戸(杉並区、中野区合計)に対し、地下調節池がなかった場合は浸水面積約105ha、浸水戸数約5,300戸。このことから、地下調節池により、浸水面積が約50ha減少し、浸水戸数が約2,300戸減少したと想定。

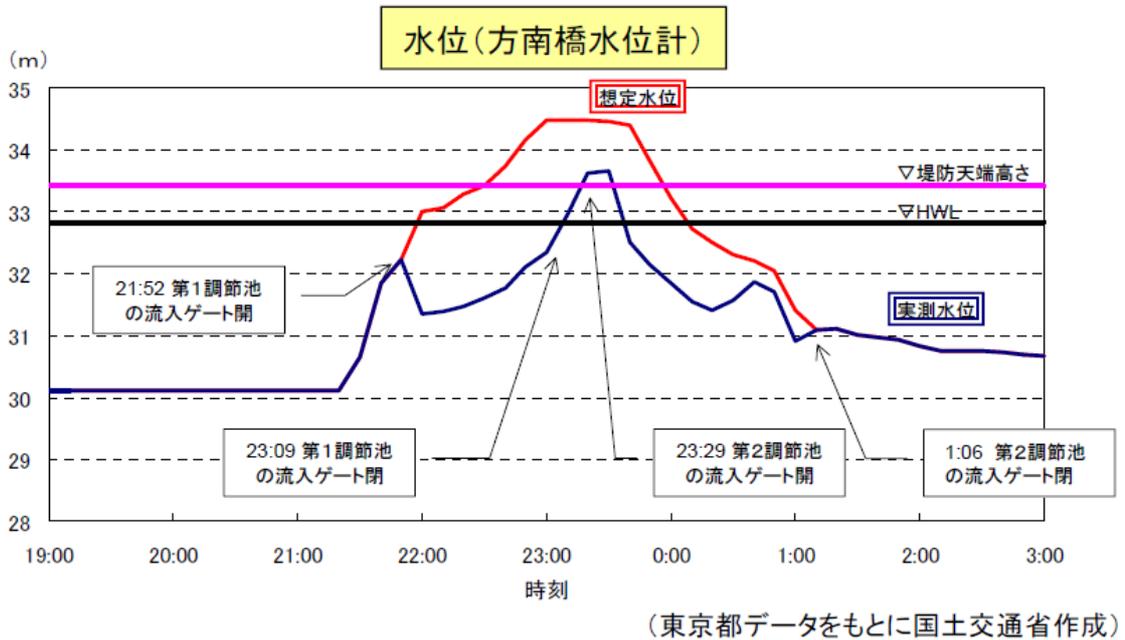


図2-10 9月4日集中豪雨における方南橋地点水位

③被害状況

次頁図 2-12 に平成 17 年 9 月 4 日集中豪雨により発生した杉並区における被害状況を示す。

また、以下図 2-11 に被災当時の写真を示す。



神田川上水橋付近

善福寺川和田広橋付近

(出典：国交省河川局 HP)



図 2-11 杉並区における被災状況写真

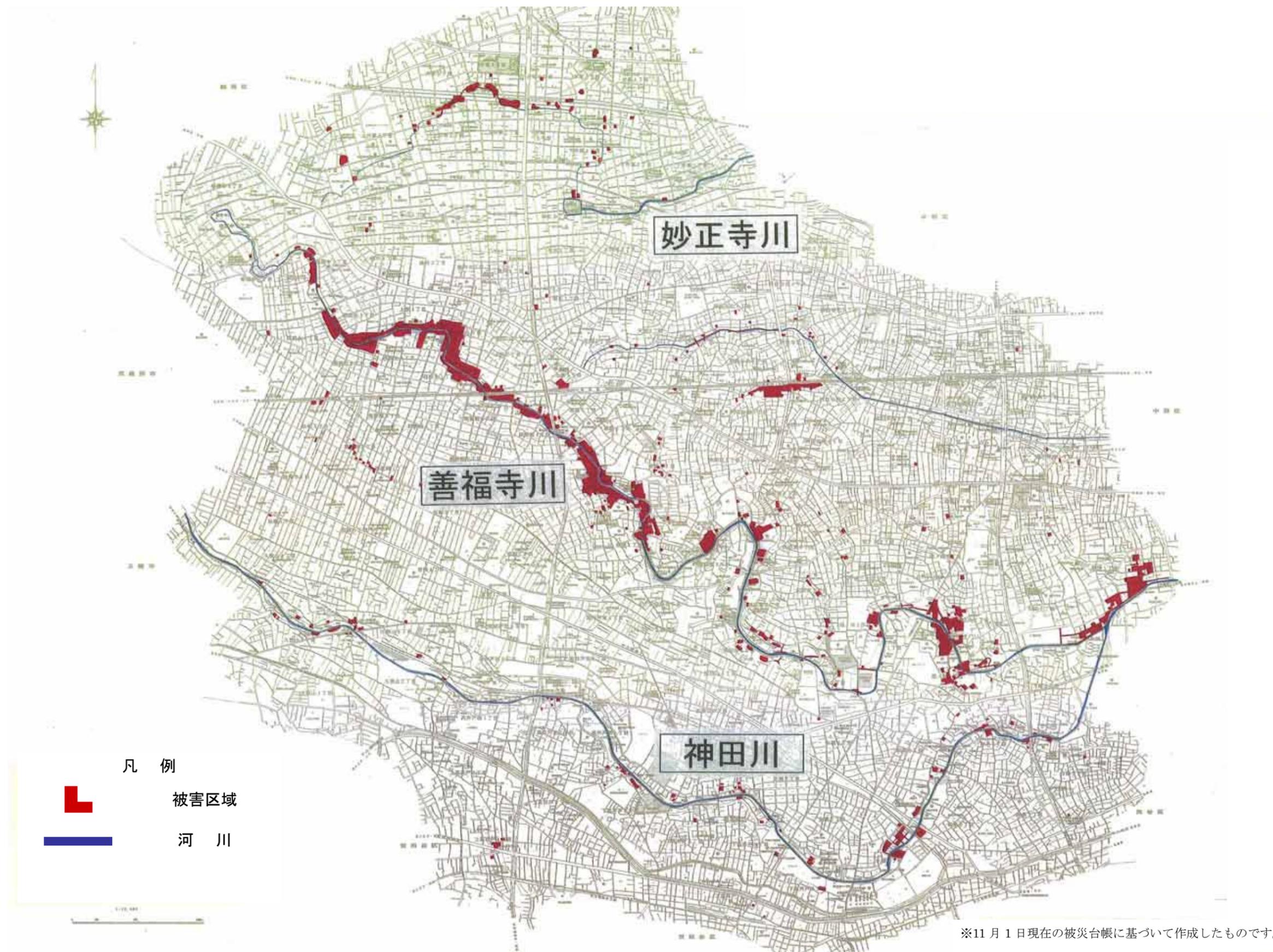


図2-12 平成17年9月4日集中豪雨による杉並区浸水被害地域図（出典：杉並区）